

I 事業活動収支の部

1. 事業活動収入

①預託金預り収入

再資源化等預託金預り収入

(1)預託方法別の預託台数

	平成19年度2Q			平成18年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
新車購入時預託	249万台	570万台	44%	271万台	△22万台	92%
継続検査時等預託	232万台	350万台	66%	1,218万台	△986万台	19%
引取時預託(後付預託を除く)	36万台	99万台	36%	113万台	△77万台	32%
合計(A)	517万台	1,018万台	51%	1,601万台	△1,085万台	32%
引取時預託(後付預託のみ)(B)	13万台	20万台	61%	8万台	4万台	154%
預託台数合計(A)+(B)	529万台	1,039万台	51%	1,610万台	△1,080万台	33%

(2)品目別の平均単価(エアバッグ類・エアコン未装備車を除いたもの)

	平成19年度2Q			平成18年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異 (a)-(c)
	決算(a)	年間予算(b)	差異(a)-(b)		
ASR	6,485円	6,400円	85円	6,222円	263円
エアバッグ類	2,450円	2,400円	50円	2,286円	164円
フロン類	2,074円	2,100円	△26円	2,081円	△7円
合計	11,009円	10,900円	109円	10,589円	420円

(3)品目別の装備率

	平成19年度2Q			平成18年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異 (a)-(c)
	決算(a)	年間予算(b)	差異(a)-(b)		
エアバッグ類	89%	90%	△1	69%	20
フロン類	95%	97%	△2	89%	6

(4)金額

	平成19年度2Q			平成18年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	55,195百万円	108,137百万円	51%	154,933百万円	△99,738百万円	36%

情報管理預託金預り収入

(1)預託方法別の預託台数

	平成19年度2Q			平成18年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
新車購入時預託	249万台	570万台	44%	271万台	△22万台	92%
継続検査時等預託	232万台	350万台	66%	1,218万台	△986万台	19%
引取時預託	36万台	99万台	36%	113万台	△77万台	32%
合計	517万台	1,018万台	51%	1,601万台	△1,085万台	32%

(2)金額

	平成19年度2Q			平成18年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	1,188百万円	2,342百万円	51%	3,682百万円	△2,494百万円	32%

【平成18年度第2四半期決算との比較】

①新車購入時預託

平成19年度第2四半期の新車購入時預託台数は前年度同期実績を下回った。

②継続検査時等預託

平成19年度においては、平成16年度第1四半期～第3四半期に新車販売された乗用車が預託の主な対象となっている。このため、平成19年度第2四半期の継続検査時等預託台数は前年度同期実績を下回った。

③引取時預託(後付預託を除く)

引取業者引取台数のうち新車購入時・継続検査時等で既に預託済みの台数の比率が高まっている(=引取時預託台数の比率が低下している。)。このため、平成19年度第2四半期の引取時預託台数は前年度同期実績を下回った。以上を要因として平成19年度第2四半期の再資源化等預託金預り収入は前年度同期実績を下回った。

(※)ASR及びエアバッグ類の単価について

①平成19年度において、継続検査時等預託台数・引取時預託台数(後付預託を除く)の減少に伴い、単価が比較的高い新車購入時預託の比率が高まっている。

②平成19年度の継続検査時等預託において、単価が比較的高い平成16年度第1四半期～第3四半期に新車販売された乗用車が預託の主な対象となっている。以上を要因として平成19年度第2四半期の単価は前年度同期実績を上回った。

(※)エアバッグ類及びフロン類の装備率について

①平成19年度において、継続検査時等預託台数・引取時預託台数(後付預託を除く)の減少に伴い、装備率が比較的高い新車購入時預託の比率が高まっている。

②平成19年度の継続検査時等預託において、装備率が比較的高い平成16年度第1四半期～第3四半期に新車販売された乗用車が預託の主な対象となっている。以上を要因として平成19年度第2四半期の装備率は前年度同期実績を上回った。

【平成18年度第2四半期決算との比較】

同上。

②特定資産運用収入－再資源化預託金等特定資産運用収入

金額

平成19年度2Q			平成18年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a) - (c)	(a)/(c)
4,056百万円	8,507百万円	48%	2,481百万円	1,575百万円	163%

【平成18年度第2四半期決算との比較】

保有債券残高の積み上がりにより平成19年度第2四半期の運用収入は前年度同期実績を上回った。

《保有債券残高実績》

平成19年度2Q末残高	平成18年度2Q末残高
7,314億円	5,521億円

2. 事業活動支出

①預託金払渡支出

再資源化等預託金払渡支出

(1)品目別の払渡台数

	平成19年度2Q			平成18年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a) - (c)	(a)/(c)
ASR	189万台	360万台	52%	175万台	14万台	108%
エアバッグ類	49万台	90万台	55%	34万台	15万台	143%
フロン類	145万台	273万台	53%	133万台	12万台	109%

【平成18年度第2四半期決算との比較】

引取業者引取台数が前年度を上回るペースで推移しているために平成19年度第2四半期の払渡台数が前年度同期実績を上回ったことから、平成19年度第2四半期の再資源化等預託金払渡支出は前年度同期実績を上回った。

《引取業者引取台数実績》

平成19年度2Q	平成18年度2Q
188万台	179万台

(2)品目別の平均単価

	平成19年度2Q			平成18年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異 (a) - (c)
	決算(a)	年間予算(b)	差異(a) - (b)		
ASR	5,966円	6,000円	△34円	5,901円	65円
エアバッグ類	1,908円	2,000円	△92円	1,856円	52円
フロン類	2,091円	2,100円	△9円	2,092円	△1円

(3)金額

平成19年度2Q			平成18年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a) - (c)	(a)/(c)
15,228百万円	29,155百万円	52%	13,744百万円	1,484百万円	111%

情報管理預託金払渡支出

(1)台数

平成19年度2Q			平成18年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a) - (c)	(a)/(c)
200万台	360万台	56%	188万台	12万台	106%

【平成18年度第2四半期決算との比較】

平成19年度第2四半期の払渡台数は前年度同期実績を上回った。しかし、平成19年度第2四半期の払渡台数のうち、払渡単価230円の払渡台数は前年度同期実績を下回った。このため、平成19年度第2四半期の情報管理預託金払渡支出は前年度同期実績を下回った。

《情報管理預託金払渡支出の単価別の払渡台数》

1台当たり単価	払渡台数	
	平成19年度2Q	平成18年度2Q
130円	133万台	93万台
230円	67万台	95万台
合計	200万台	188万台

(2)金額

平成19年度2Q			平成18年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a) - (c)	(a)/(c)
327百万円	660百万円	50%	340百万円	△13百万円	96%

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成19年度2Q			平成18年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a) - (c)	(a)/(c)
149百万円	227百万円	66%	28百万円	121百万円	541%

【平成18年度第2四半期決算との比較】

①平成19年度の未払再資源化預託金等利息支払支出に適用される利率が平成18年度よりも高い。

適用利率	平成19年度払渡	平成16年度利率	平成17年度利率	平成18年度利率
	平成19年度払渡	0.004%	0.380%	0.835%
平成18年度払渡	0.004%	0.380%	-	

(※)利息は預託年度に応じて複利計算される。

②平成19年度第2四半期の払渡台数が前年度同期実績を上回った。

以上を要因として平成19年度第2四半期の未払再資源化預託金等利息支払支出は前年度同期実績を上回った。

②預託金輸出返還支出

再資源化預託金等輸出返還支出

(1)台数

平成19年度2Q			平成18年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a) - (c)	(a)/(c)
43万台	92万台	47%	10万台	33万台	413%

(2)金額

平成19年度2Q			平成18年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a) - (c)	(a)/(c)
4,409百万円	8,937百万円	49%	1,022百万円	3,387百万円	432%

【平成18年度第2四半期決算との比較】

平成19年度第2四半期の輸出返還台数が前年度同期実績を上回ったため、平成19年度第2四半期の再資源化預託金等輸出返還支出は前年度同期実績を上回った。

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成19年度2Q			平成18年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a) - (c)	(a)/(c)
39百万円	93百万円	42%	2百万円	37百万円	1729%

【平成18年度第2四半期決算との比較】

①平成19年度の未払再資源化預託金等利息支払支出に適用される利率が平成18年度よりも高い。

適用利率	平成19年度輸出返還	平成16年度利率	平成17年度利率	平成18年度利率
平成19年度輸出返還	0.004%	0.380%	0.835%	
平成18年度輸出返還	0.004%	0.380%	—	

(※)利息は預託年度に応じて複利計算される。

②平成19年度第2四半期の輸出返還台数が前年度同期実績を上回った。

以上を要因として平成19年度第2四半期の未払再資源化預託金等利息支払支出は前年度同期実績を上回った。

③他会計への繰入金支出

承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出

金額

平成19年度2Q			平成18年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a) - (c)	(a)/(c)
108.7百万円	108.7百万円	100%	761.6百万円	△652.9百万円	14%

【平成18年度第2四半期決算との比較】

平成19年度第2四半期の特定再資源化預託金等の出えん額が前年度同期実績を下回ったため、平成19年度第2四半期の他会計への繰入金支出は前年度同期実績を下回った。

《出えん実績》

出えん先	出えん額(※)	
	平成19年度2Q	平成18年度2Q
指定再資源化機関	—	414.4百万円
情報管理センター	110.0百万円	350.0百万円
合計	110.0百万円	764.4百万円

(※)「承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出」と「未払再資源化預託金等利息支払支出」の合計額。

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成19年度2Q			平成18年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a) - (c)	(a)/(c)
1.3百万円	1.3百万円	100%	2.8百万円	△1.5百万円	46%

II 投資活動収支の部

1. 投資活動収入

①特定資産取崩収入—再資源化預託金等特定資産取崩収入

金額

平成19年度2Q			平成18年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a) - (c)	(a)/(c)
19,880百万円	39,333百万円	51%	16,236百万円	3,645百万円	122%

【平成18年度第2四半期決算との比較】

平成19年度第2四半期の事業活動支出の合計額が前年度同期実績を上回ったことから、これらの支出の原資となる平成19年度第2四半期の特定資産取崩収入は前年度同期実績を上回った。

2. 投資活動支出

①特定資産取得支出—再資源化預託金等特定資産組入支出

金額

平成19年度2Q			平成18年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a) - (c)	(a)/(c)
65,692百万円	130,259百万円	50%	177,944百万円	△112,252百万円	37%

【平成18年度第2四半期決算との比較】

継続検査時等預託台数の減少等により預託金預り収入の額が減少していることに伴い、資金管理法の口座への入金額も減少していることから、平成19年度第2四半期の特定資産取得支出は前年度同期実績を下回った。